

感染症情報 11月6日～12日

府下小児科200療機関(堺市19)から

①感染性胃腸炎	852例(堺市	41例)
②溶連菌感染症	451例(堺市	39例)
③RSウイルス感染症	268例(堺市	31例)
④手足口病	107例(堺市	4例)
⑤みずぼうそう	105例(堺市	10例)

府下インフルエンザ定点306医療機関(堺市29)から

インフルエンザ	97例(堺市	7例)
---------	--------	-----

が報告された。

感染症報告数は前週比18.2%増の2,105件であった。

報告の第1位は感染性胃腸炎で、以下溶連菌感染症、RSウイルス感染症、手足口病、みずぼうそうの順であった。

感染性胃腸炎は府下で前週より28%増、堺市で前週より58%増であった。溶連菌感染症は府下で前週より28%増、堺市で前週13例→今回39例で3倍になった。RSウイルス感染症は府下で前週比6%増、堺市で15%増であった。定点当たりで見ると、前週が1.3で、今回も1.3であった。手足口病は府下で前週比24%減、堺市で前週5例→今回4例であった。みずぼうそうは府下で前週比9%増、堺市で前週3例→今回10例であった。

インフルエンザは府下で前週82例→今回97例で18%増、堺市では前週が15例で、今回は7例に減った。定点当たりでは前週0.3で、今回も0.3である。

麻疹や風疹の報告はなかった。